# 市広報紙が創刊100号を迎えました

おかげさまで、神栖市誕生から数え今号で創刊100号を迎えることができました。100号を迎え、広報紙作成の「縁の下の力持ち」である2つの市民ボランティア団体の活動をご紹介します。

## 目の不自由な方のための広報紙づくり

### 声の広報 うぐいすの会

### 声で伝える

「広報かみす」を朗読し、カセットテープ(またはCD)に録音した「声の広報」を作っているのが「うぐいすの会」です。

**「声の広報」ができるまで**

①市民協働課が広報紙の原稿とカセットテープを届ける
②広報紙の原稿を持ち帰り、録音当日まで下読みを行う
③録音
④録音したカセットテープをダビングする
⑤市民協働課がカセットテープからCDへの変換作業を行う(テープ希望者4人、CD希望者11人)
⑥市民協働課が専用のケースに入れ発送を行う

原稿には書き込みがいっぱい

特に気をつけている作業は②。

間違えずに読むための練習はもちろんですが、「音(声)を聴く」と、「文字を読む」の違いを考え、区切りをつけたり表現を変えたりします。文字と違い漢字から意味を理解・推測することができないため、正しい読み仮名や聴いてわかる表現を使うよう気をつけています。

朗読の発表会

**誕生のきっかけ・そのほかの活動**

「うぐいすの会」は、市が主催した「リーディング講座」の受講生が集まり、平成3年に発足しました。現在の会員は18名。「広報かみす」のほかに「神栖市議会だより」などを朗読し録音しています。そのほか児童館や福祉作業所などで読み聞かせを行っています。また、年に1回朗読の発表会をしています(今年の開催日は、15ページ「お知らせコーナー」に掲載)。

### 点字広報 ひとみの会

### 六点を組み合わせ伝える

「広報かみす」を、点字に変換した「点字広報」を作っているのが「ひとみの会」です。

**「点字広報」ができるまで**

①市民協働課が広報紙の原稿と広報紙の文字データを届ける
②文字データをパソコンの点字ソフトに読み込ませ点字に変換する
③変換された点字に誤りが無いかチェックし、訂正する
④点字を印刷し製本する
⑤点字広報を封筒に入れ宛名シールなどを貼る(9人分)
⑥市民協働課が発送を行う

点字広報(実際の点字広報には、振り仮名は書いてありません)

特に気をつけている作業は③。

現在使用している点字ソフトは、広報紙の文字データをすべて「ひらがな」として読み取り、点字に変換します。ただし、漢字は読み方が何通りもあるため、例えば「神之池」は「かみこれいけ」と変換されることがあります。このような間違いがないように、みんなで最低2回チェックを行います。

神栖二中での出張点字講座

**誕生のきっかけ・そのほかの活動**

「ひとみの会」は、社会福祉協議会が開催した「点字講座」の受講生が集まり、平成4年に発足しました。現在の会員は10名。「広報かみす」のほかに「神栖市議会だより」、「社協ニュース」などを点字化しています。そのほか時間がある時には、本や取扱説明書なども点字で作成します。また、小中学校への出張講座を実施し、点字を知ってもらうための活動も行っています。

## 利用者からのひとこと

**声の広報**

こんな言い方して良いのかとも思うのですが、朗読がだんだんうまくなっていますね。号によって担当する方が変わりますが、どなたも聴きやすくはっきりしている。大事な情報がわかりとても役立っています。

**点字広報**

いつもありがたいなと思っています。点字は、目が見える人にとっての文字と同じです。とばして興味のあるところだけ読んだりもします。実は、皆さんが思っているより読むのは早いですよ(笑)。これからもよろしくお願いします。

「うぐいすの会」と「ひとみの会」これら2つの団体がなくては、「広報かみす」は完成しません。

自分の時間を削って広報を作る原動力を伺ったところ、答えは2つの団体とも、「人の役に立てる、喜んでもらえること」

お礼の手紙や言葉がうれしく励みになっているそうです。

また、思わぬ利点は、正しい漢字の読み方が必要なため、辞書を引く癖(くせ)がつき漢字の知識が増えたこと。「プライベートでも、わからない漢字があると、気持ち悪くてそのままにしておけない(笑)」とのことです。

「長く続けてこれたのは、気のおけないすてきな仲間がいたからこそ。これからも、気負わず楽しみながら続けていきたい」と話してくれました。

目の見えない方への理解が広がっていくことを2つの団体は望んでいます。今回の記事がそのきっかけになれば幸いです。

### ♥ 会員募集 ♥

「うぐいすの会」は、朗読が上手じゃなくても大丈夫。「ひとみの会」は、パソコンで変換できるので点字ができなくても大丈夫。

「自信が無い…」なんて思わず、少しでも興味がある方はお問い合わせください。見学もできます。

問合先▶社会福祉協議会ボランティアセンター
☎0299(93)1029